

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

国や地域を超えた世界中の人々のために企業活動を行い、すべては人々のために『For the People』

女性管理職比率
12.5%

男性育児休暇取得率
60.0%

女性育児休暇取得率
100.0%

営業利益
73億円

② 中長期の経営戦略

1. 新しいビジネスモデルの構築

既存の外食産業の範疇を超えるような市場創造・価値提供を行うモデル創り。素材開発や商品提供方法の改善に踏み込み、革新による飛躍を図る。

3. ひと・健康・テクノロジー実践

「ひと」を活かす価値創造、グループ人事本部設立による人事マネジメント強化、ウェルネス経営推進、DX実現による業務効率化と生産性向上。

2. 飲食業の再定義の実現

スピーディーな意思決定が可能なグループ経営体制への見直し。グループ本部の機能発揮最大化、グループ間人事交流の活発化、商品本部による仕入れの共通化、グローバル展開加速。

4. 新中期経営計画（26～30年度）

国内は業態進化と新たな付加価値創造、海外は既存エリア最適化と新規マーケット進出。ラーメン事業はM&Aで第3の事業ドメインへ。

③ 対処すべき課題

① コスト上昇への対応

- ・ 原材料価格高騰と人件費上昇により営業利益が前期比6億円以上減少
- ・ 経費コントロール強化とグループ各事業での価格改定による対応が必要

② 財務健全性の回復

- ・ 借入金の返済と効率的な資金管理を継続推進
- ・ 投資効率改善を前提とした財務規律の堅持

③ 経営環境変化への対応

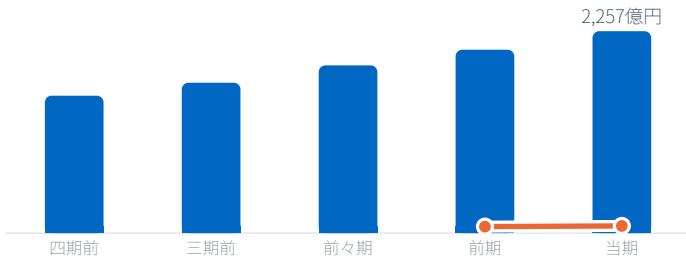
- ・ インフレ進行、地政学的リスク、気候変動への機動的かつ能動的な対処
- ・ DXを通じた既存ビジネスモデルの変革推進

面接で使えるポイント

- ・ 『For the People』の理念のもと、6つの価値観「うまい、やすい…」
- ・ グループ人事本部設立し、ウェルネス経営の推進でBLS研修や命のバトンプロジェクトに取り組む先進的な人材重視企業
- ・ 2026～2030年度新中期経営計画で、既存事業維持に加え新規出店とDX推進、ラーメン事業のM&Aなど成長投資を加速

証券コード 9861

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2,257億円営業利益率
3.6%財務健康度
38点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 61.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
726万円

小売業内 40位/318社

平均年齢
47.9歳

小売業内 42位/318社

平均勤続
18.4年

小売業内 42位/318社

女性管理職
9.1%

小売業内 160位/250社

男性育休
64.1%

小売業内 118位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 吉野家ホールディングス[9861]：自己株式の取得に係る事項

